

プレスリリース
ハイレベル会合

極度の貧困解消を目指し、世界の指導者が国連で協議

企業、財団、活動家のリーダーが2015年のミレニアム開発目標達成に向けて力を結集

国連、ニューヨーク、9月11日ー各国の首脳その他の政府高官は9月25日、ニューヨークの国連本部で民間企業、財団および市民団体の指導者と一堂に会し、2015年までにミレニアム開発目標(MDGs)を達成するため、さらなる行動を約束することになりました。

潘基文(パン・ギムン)国連事務総長とミゲル・デスコト・ブロックマン国連総会議長が招集するこのハイレベル会合には、およそ100カ国の首脳が参加を予定しています。MDGsに関する首脳レベル会合が行われるのは、世界の指導者が「ミレニアム宣言」で定められたMDGsの達成を公約した2000年以来、はじめてのことです。

2015年という目標達成期限に向けた中間点で開催される今回のハイレベル会合は、これまでの進展状況を振り返り、現時点でのギャップと次なるステップを明らかにするとともに、すべての国々がMDGsを達成できるよう、既存の公約を実際に具体的な計画や行動へと移すことを目的としています。ハイレベル会合は国連総会の年次一般討論期間中に開催されますが、これに先立つ9月22日には、アフリカの開発ニーズに関するハイレベル会合も行われる予定です。

「9月のハイレベル会合は、ミレニアム開発目標達成に向けた転換点となるでしょう」と潘事務総長は語り、この問題を最優先課題の一つと位置づけました。「私たちが後になって、世界がMDGs達成に向けた軌道に戻った瞬間としてこの日を振り返れるものと強く期待しています」

不ぞろいの前進と新たな課題

国連の『ミレニアム開発目標報告 2008』によれば、極度の貧困削減には力強い持続的な前進が見られます。世界銀行による最新の貧困推計を見ると、開発途上地域の貧困層はこれまで考えられていたよりも多く、14億人とされています。それでも、この新たな推計は、極度の貧困の中で暮らす人々の数が1990年から2005年にかけて、4億人以上減少したこと、および、世界の貧困率が2015年までに、目標である1990年の50%へと低下する公算が大きいことを確認しています。しかし、この減少はほとんど東アジア、特に中国で生じており、他地域の中には、貧困率の低下幅がはるかに小さく、貧困層の規模もあまり縮小していないものが見られます。事実、サハラ以南アフリカや旧ソ連共和国では、1990年から2005年にかけて、貧しい人々の数が増大しています。

「私たちはまさに、開発の緊急事態に直面している」と潘氏は語ります。「2015年という期限に向けた中間点において、私たちが特にアフリカで、MDGsの達成に十分な前進を遂げていないことは明らかです。しかも、景気の減速や食料・燃料価格の高騰、気候変動といった新たなグローバルな課題は、私たちのこれまでの前進を逆戻りさせるおそれがあります」

報告によると、世界的な景気減速は貧困層の所得を減少させ、気候変動はただでさえ恵まれない立場に置かれた人々に不当に大きな影響を及ぼし、食料価格の全般的高騰は数百万人をさらに深刻な貧困へと追いやると見られます。サハラ以南アフリカと南アジアという、すでに極度の貧困の中で暮らす人々が最も多い地域は、特に厳しい状況に置かれるでしょう。

広がる連携

9月21日から26日の週には、国連の内部やその周辺で、MDGs 関連の重要問題に取り組むパートナーシップ・イベントが数十件開かれますが、数多くの企業の CEO や、慈善家その他の市民社会パートナーは、しばしば政府の指導者や国連機関と幅広く連携しながら、これらに参加する予定です。その中には、マラリアや安全な飲料水、妊産婦保健、女性の地位向上に関するものをはじめ、重要な新規のイニシアチブや具体的行動の発表が期待されるイベントもあります。(パートナーシップ・イベントの日程と詳しい情報へのリンクは、ウェブサイトをご覧ください。)

「私たちは、MDGs 達成に向けた連携が歴史的な規模で広がるのを目の当たりにしている」と潘氏は語ります。「私たちは全員、今後7年間で極度の貧困に終止符を打てるよう、ギアチェンジを行っているところです。本気でやればできるのです」

ハイレベル会合の開会式では、国連総会議長と事務総長、政府指導者数人に加え、民間企業を代表してビル・ゲイツ氏(ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団)、市民社会を代表してエラベン・バット氏(インド女性自営業者協会)がそれぞれ発言を予定しています。

参加指導者はその後、貧困と飢餓、教育と保健および環境の持続可能性に関する3つの分科会に分かれて出席しますが、そのいずれにおいても、ジェンダーの平等と開発のためのグローバル・パートナーシップは、分野横断的テーマとして話し合われることになっています。事務総長は、重要なパートナーシップ・イベントの結果も踏まえつつ、ハイレベル協議の主たる成果の総括を行うほか、閉会にあたり記者会見にも臨む予定です。(プログラムの詳細については、ウェブサイトをご覧ください。)

MDGs に関するインタビュー、記事資料その他の情報については、プレスキットとハイレベル会合ウェブサイトにある機関合同広報担当官のリストをご覧ください。

メディア向け情報全般については、国連広報局の下記の担当官までお問い合わせください。

Martina Donlon, Tel: +1 212 963 6816, email: donlon@un.org

François Coutu, Tel : +1 917 367 8052, email: coutu@un.org

Newton Kanhema, Tel : +1 212 963 5602, email: kanhema@un.org

Pragati Pascale, Tel : +212 963 6870, email: pascale@un.org

メディアの認証とアクセスについては、下記にお問い合わせください。

Media Accreditation and Liaison Unit, UN Department of Public Information

Tel: 212-963-2318, Fax: 212-963-4642 またはオンラインで www.un.org/media/accreditation

ハイレベル会合と記者会見のライブ・ウェブキャストについては、www.un.org/webcast をご覧ください。

ハイレベル会合に関するさらに詳しい情報と、パートナーシップ・イベントの全リストについては、www.un.org/millenniumgoals/2008highlevel をご覧ください。

ミレニアム開発目標についてさらに詳しくは、www.un.org/millenniumgoals をご覧ください。